

KITAISEUENO SHINKIN BANK Disclosure 2021

2021年3月期 ミニディスクロージャー



KITASEUENO SHINKIN BANK

Disclosure 2021

ごあいさつ



会長 市川克美



理事長 南部和典

皆さまには平素より北伊勢上野信用金庫をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、当金庫に対するご理解を一層深めていただくため、「2021年3月期ディスクロージャー誌」を作成いたしました。当金庫の業績や活動状況をできるだけわかりやすくご案内しておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

第六次中期経営計画の最終年度である今年度は、常にお客さまに寄り添いながら、ウィズコロナを生き抜くための

本業支援・経営改善支援や事業承継・再生支援などの課題解決に最優先に取り組み、さらに日々変化するDXや世界的な脱炭素社会などの新たな流れについて情報発信することで、地域の皆さまのご期待にしっかりとお応えしていく所存です。今後も役職員一同全力を尽くしてまいりますので、何卒倍旧のご支援、ご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

2021年7月

経営理念

- 地域金融のプロフェッショナルとしてお客さまの夢の実現に貢献します。
- 自己啓発に励み、手づくりで良質な金融・情報サービスを提供します。
- 健全で活力ある前向きな経営を心がけ、地域社会の皆さまとともに繁栄します。



北伊勢上野信用金庫

設 立	昭和4年6月6日
本店所在地	四日市市安島二丁目2番3号
出 資 金	33億円
店 舗 数	30店舗(うち出張所2ヵ所)
役 職 員 数	348人
預 金 積 金	4,303億円(預金には譲渡性預金を含みます。)
貸 出 金	2,235億円

(2021年3月31日現在)

第六次中期経営計画(2019～2021年度)

当金庫では2019年度より「第六次中期経営計画 One Company One Vision ～磐石な経営基盤の確立に向けて～」をスタートしました。三重県の北勢及び中勢地域に位置し、中部関西両経済圏にまたがる唯一の信用金庫として、盤石な経営体力を維持し、地域の皆さまの期待にしっかりと応えできる金融機関となるよう、役職員一同が一丸となって取り組んでいます。

行動指針

- 1 お客さまの一番身近な金融機関を目指します
- 2 お客さまから信頼される金融機関を目指します
- 3 果敢に挑戦する金融機関を目指します

経営ビジョン

「一体感」の醸成を図り、「時代に合った信用金庫の原点回帰」を基本に、新たな考え、新しいことを考える力を意味する「創造」を掛け合わせることで、地域での唯一無二の存在を目指します。

地方創生に資する取組みが大臣表彰を受賞しました

当金庫の「産学官連携から生まれたこだわり野菜の地産池消による農山村地域の活性化に向けた取組」が、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部より、令和2年度地方創生に資する金融機関等の「特徴的な事例」として、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）より表彰を受けました。



当金庫は、今後も地域の皆さまとともに地方創生を通じた地域課題の解決に取り組み、地域の発展に貢献してまいります。

特殊詐欺注意喚起封筒を配布しました



三重県下の信用金庫が三重県警察本部と連携し、特殊詐欺被害の未然防止策として、注意を呼び掛ける文言やイラストを掲載した現金封筒を共同で作成しました。窓口での現金出金時にお渡ししたり、店外も含むATMコーナーに配置しました。

塩浜支店の店舗移転について

2021年1月12日をもって、地元の皆さまに支えられ地域と共に歩んでまいりました塩浜支店(昭和57年5月開設)を店舗の耐震上の理由により、日永支店に移転いたしました。長らくのご愛顧にお礼申し上げますとともに、今後とも地域の皆さまの変わらぬご支援をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための営業体制を導入しました

新型コロナウイルス感染症拡大をうけ、お客さまと職員の健康・安全を最優先に、感染拡大を防ぎつつ金融サービス機能の維持・継続を図るため、窓口の縮小やパーテーション設置を実施しました。

また、新型コロナウイルス相談窓口を設置し、感染拡大で影響を受けたお客さまの資金繰り支援等を積極的に実施しました。



「相続センター」を設置しました

お客さまの利便性向上を目的に、業務支援部内に「相続センター」を設置しました。

お客さまから店頭やお電話にて相続手続きをお申し出いただいた後、これまでどおりの営業店での手続きに加え、郵送での手続きが可能となりました。

受動喫煙防止策として、庫内全面禁煙を実施しました

2020年4月1日からの改正健康増進法施行に伴い、望まない受動喫煙の防止を図るため、庫内全面禁煙(敷地内および営業車両内を含む)を実施いたしました。



地域の皆さまとともに

2020年度の主な取り組み

4月

受動喫煙防止策として、庫内全面禁煙を実施
新型コロナウイルス感染症拡大防止のための営業体制導入
～窓口にてパーテーションを設置
ゴールデンウィーク期間中、
新型コロナウイルス相談窓口を設置
(相談プラザ四日市、名張支店)



新型コロナウイルス相談窓口

5月

「三重県新型コロナウイルス感染症対応資金」取扱開始
～事業者さまの資金繰りを支援
新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、
全店舗で昼休業を導入(～5/22)
～お客さまと職員への感染を防止しつつ、
金融サービス機能を維持・継続

6月

第92期通常総代会開催
「地域応援定期預金」取扱開始(～9月)
～コロナ禍での地域応援の一環として、
スーパー定期1年ものを適用金利0.03%にて取扱い
新型コロナウイルス感染症対策支援ローン
「教育プラン」取扱開始(～2021年6月)
～コロナ禍での子育て世代支援の一環として、教育ローンの金利
引き下げキャンペーン実施



第92期通常総代会



地元水産産物の移動販売

7月

「みらい応援キャンペーン」実施(～9月)
～コロナ禍での地域応援の一環として、投資信託定額などを
ご契約のお客さまにクオカードをプレゼント

取引先が取り組む地方創生に資する事業の販路拡大支援を開始
～地元水産産物の移動販売事業への協力

8月

出資証券不発行・出資印鑑レス化を開始
プレミアム付商品券の販売および換金の取扱開始
第4回北伊勢上野信用金庫杯
第18回鈴鹿市ジュニアバレーボール交歓大会に協賛
「北勢総合リース株式会社」を完全子会社化

9月

本店玄関にサーマルカメラを設置
～新型コロナウイルス感染症対策として
四日市市教育委員会と連携し教育活動を実施
～塩浜中学校、朝明中学校にて当金庫職員が出張授業

10月

融資推進取組事例の発表会実施
～若手職員が新規先開拓の事例や新規開業資金の融資案件を紹介

企業再建・承継コンサルタント協同組合および
株式会社アセットパートナーズとの業務提携契約締結



融資推進取組事例発表会

11月

名張支店の日曜営業終了(相談プラザ名張の日曜営業は継続)

緑ヶ丘支店ゆめが丘出張所の窓口営業時間および貸金庫利用時間を変更し、昼休業を導入

経営者向け「Withコロナ時代の経営手法と働き方WEBセミナー」実施
(後援:しんきんコラボ産学官Mie)
～講師:株式会社エフアンドエム 河合 幹雄氏

地区別総代懇談会開催

12月

地域の特産品プレゼントキャンペーンの実施

～コロナ禍での地域応援の一環として、年金受取口座指定などをご契約のお客さまに、抽選で地域の特産品をプレゼント

新型コロナウイルス感染症対策支援ローン「ライフプランⅡ」取扱開始

～コロナ禍での生活資金に不安を感じるお客さま支援の一環として、最長1年間の元金据置が可能

特殊詐欺注意喚起を表示した現金封筒を各支店および店外ATMにて配布

受験生を応援GOGO合格キャンペーンの実施

株式会社三重事業承継マネジメントと「M&A仲介業務に関する協定書」締結

業務のペーパーレス化・デジタル化を目的として「業務デジタル化プロジェクト」立ち上げ

1月

塩浜支店を日永支店内へ移転(店舗内店舗方式)

2月

「新型コロナ克服設備等投資支援資金」創設

～業績の回復・拡大に向けて専攻的に設備投資を行う事業者さまが対象

業務支援部内に「相続センター」設置

第7回伊賀上野まちゼミに参加

～「今だからこそやっておきたい『おカネの整理整頓術』講座」

3月

新小学校一年生へ「ご当地きょうらくたー自由帳」を寄贈

2021春の新生活応援キャンペーンの実施(～6月)

しんきんコラボ産学官Mie「経営者セミナー」実施

～講師:三重大学人文学部教授 青木 雅生氏

「新常态(ニューノーマル)時代における中小企業経営」

ベルマークを県内特別支援学校5校へ約33,000点贈呈

地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」が大臣表彰受賞

～「産学官連携から生まれたこだわり野菜の地産地消による
農山村地域の活性化に向けた取組」が評価



ご当地きょうらくたー自由帳

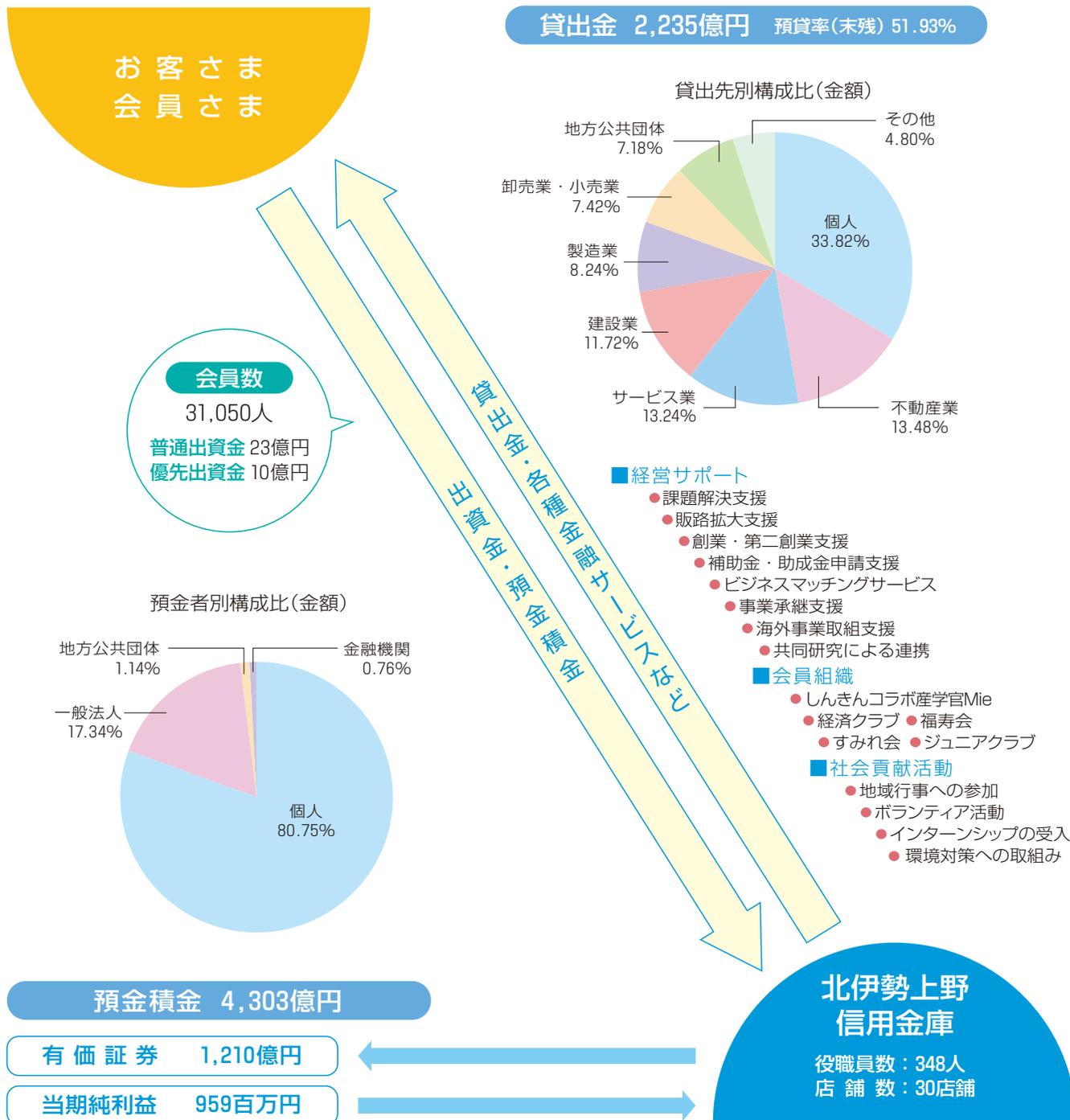


地方創生大臣表彰

北伊勢上野信用金庫と地域社会

「信用金庫」とは、限られた地域を営業エリアとする、地域住民や地域の中小企業のための金融機関です。株式会社である「銀行」とは異なり、会員の出資による協同組織の金融機関であり、「非営利と相互扶助」を基本理念としています。

当金庫は、北伊勢地区、上野地区を主要な営業エリアとして、地元のお客さまからお預かりした大切な資金(預金積金)を地元のお客さまに広くご融資し、地域経済の安定や活性化に努めております。



※各種計数は2021年3月末の実績です。
 ※預金積金には譲渡性預金を含みます。

お客さまに経営の状況をお伝えし、お客さまのご意見を経営に活かしています

「地区別総代懇談会」を定期的で開催し、金庫の業況や地域経済を取り巻く環境などについてきめ細かな意見交換を行っています。2020年度は3地区で開催し、42名の総代の皆さまにご参加いただきました。

CSR(企業の社会的責任)への取組み

当金庫は、地域社会の発展や豊かな暮らしづくりのためにさまざまな活動を通して、地域の文化・スポーツ振興、社会福祉の向上に努めています。

地元中学校で出張授業を実施しました

学校教育の振興と発展のため、四日市市教育委員会と連携し、四日市市内の中学校で出張授業を行いました。営業店に勤務する若手職員が講師を担当し、金融についてのクイズなどを織り交ぜながら、和気あいあいとした雰囲気です。



生徒の皆さんは、普段知ることのできない信用金庫の仕事内容ややりがいを知り、興味深く耳を傾けていました。

当金庫は、今後も地域密着型金融機関として、地域の教育活動に貢献してまいります。

「伊賀FCくノ一」を応援しています

当金庫は、地元金融機関としてなでしこリーグ「伊賀FCくノ一」を応援しています。2016年度からは、さらなる飛躍に向け、会場広告のほかトレーニングウェアへの広告掲載を行っています。



インターシップ(職場体験会)の受入れ

2020年度は、高等学校2校のインターシップを受け入れました。

鈴鹿市ジュニアバレーボール交歓大会に協賛(8月)

当金庫が協賛する鈴鹿市ジュニアバレーボール交歓大会が「第4回北伊勢上野信用金庫杯」として開催されました。鈴鹿市の11チームが集まり、3会場に分かれて熱戦を繰り広げました。鋭いスパイクや見事なレシーブなど力のこもったプレーに会場内は大きな歓声や拍手に包まれました。



「まちゼミ」でセミナーを開講しました(2月)

「今だからこそやっておきたい『おカネの整理整頓術』」をテーマに、当金庫の専門スタッフが、伊賀上野「まちゼミ」で計2回のマネーセミナーを開催しました。大変好評をいただいております。今後も継続して開催してまいります。



新小学一年生へ「ご当地きゃらくたー自由帳」をプレゼントしました(3月)

当金庫の通帳やキャッシュカードにデザインされている「ご当地きゃらくたー」の自由帳を、当金庫本店が所在する市町村の小学校(117校)に入学した新一年生のお子さま全員にプレゼントしました。今後も地域密着型金融機関として、地域活性化・子育て応援に積極的に取り組んでまいります。



ベルマークを収集、寄贈しました(3月)

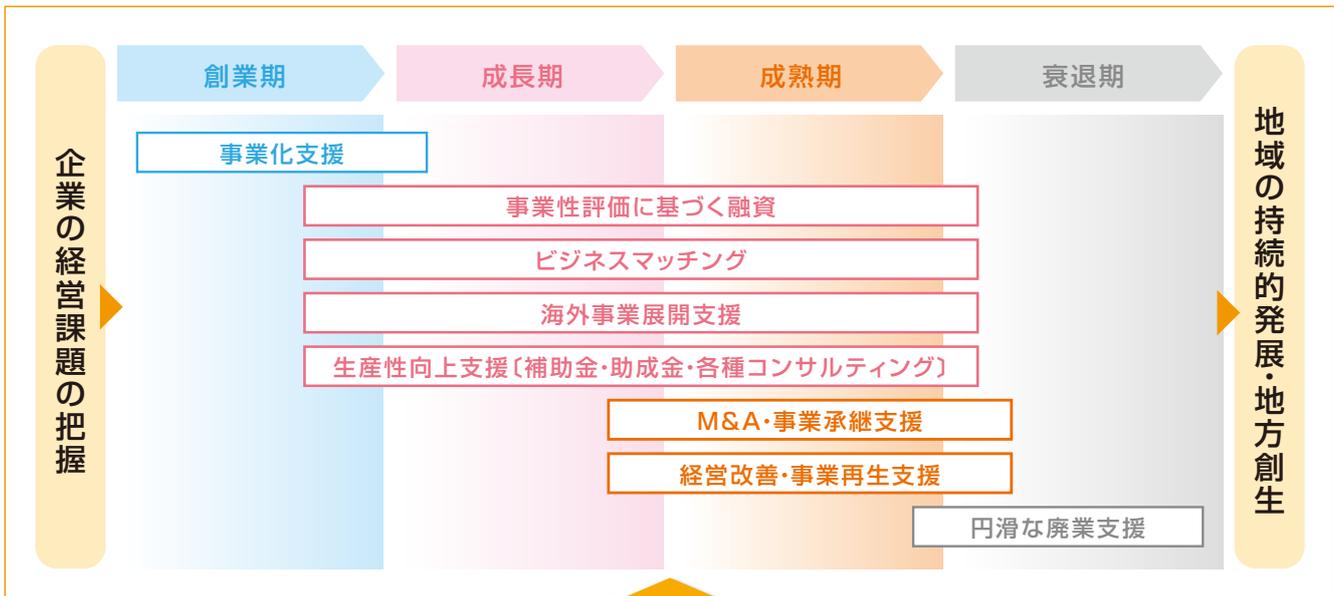
昨年に引き続き「ベルマーク収集運動」を実施しました。1点1円で学用品や備品などと交換できることから、収集した約33,000点を当金庫営業エリア内にある特別支援学校5校に寄贈しました。



その他、趣味の書道・写真・絵画などの作品展や「がんを知る展」「伊賀FCくノ一写真展」など、さまざまな展示会を定期的で開催しております。

中小企業の経営支援にかかる態勢

企業のライフステージ



外部支援機関・専門家との連携

<p>創業支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ●商工会議所・商工会 ●株日本政策金融公庫 ●三重県信用保証協会 ●freee(株) ●日本管理センター(株) ●READYFOR(株) 	<p>経営課題解決(生産性向上)支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(独)中小企業基盤整備機構 ●三重県よろず支援拠点 ●TKC中部会 ●株ミッドランド経営 ●株BIZサポート ●オリックス(株) ●株エフアンドエム ●テザミス(株) ●中小企業診断士 ●弁理士、司法書士 	<p>経営改善・事業再生支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中小企業再生支援協議会 ●みえ中小企業再生ファンド ●K'Sコンサルティングオフィス ●株タクミコンサルティング ●安田税理士事務所 ●企業再建・承継コンサルタント協同組合 ●株日本政策金融公庫 ●株商工組合中央金庫 ●公認会計士、税理士、弁護士 	<p>ビジネスマッチング支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ●信金中央金庫 ●信用金庫 ●ものづくりB2Bネットワーク ●株あおぞら銀行 ●よい仕事おこしネットワーク
<p>事業承継・M&A支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ●信金キャピタル(株) ●株日本M&Aセンター ●株エクステンD ●株ビズリーチ ●名南M&A(株) ●事業承継・引継ぎ支援センター 	<p>海外展開支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ●信金中央金庫 ●日本貿易振興機構 ●セコム三重(株) ●総合警備保障(株) 	<p>成長分野支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区 ●みえライフイノベーション総合特区 	<p>産学連携・ものづくり支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地方公共団体 ●商工会議所・商工会 ●三重大学・四日市大学 ●鈴鹿工業高等専門学校・近畿大学工業高等専門学校 ●しんぎんコラボ産学官Mie ●SUZUKA産学官交流会

経営支援に関する主な取組み

- 事業性評価シートを活用し、お客さまの抱える経営課題に対して速やかに応えられる体制を構築しています。
 - ▶お客さまのトップラインを上げるため販路拡大支援に取り組んでいます。
 - ▶お客さまの創業・第二創業における計画書作成やご融資、政府系金融機関のご紹介を行っています。
 - ▶お客さまの後継者問題等による事業承継支援やM&Aにも積極的に取り組んでいます。

(2020年度実績)

主な支援内容	相談先数	成約先数	成約数
販路拡大支援	105	31	29.5%
創業・第二創業支援	75	67 ⁽¹⁾	89.3%
事業承継支援	48	12	25.0%
M & A 支援	5	2	40.0%

(1) 創業18先、創業期47先、第二創業2先
 (2) 株式会社日本政策金融公庫との連携支援2先

金融仲介機能発揮への取組み

当金庫は、従来から、地元へ根ざした金融機関としてお客さまとの密接な関係を活かし、地域密着型金融を推進し、様々な施策に取り組んでまいりました。2019年度よりスタートした「第六次中期経営計画(2019～2021年度)」においても、お客さまの経営支援、海外展開支援、事業承継支援などに積極的に取り組み、地方創生・地域活性化に資することで、さらなる地域密着型金融の深化を目指しております。

1. お客さまへのコンサルティング機能の発揮

事業性評価に基づく融資、事業性評価に基づく本業支援でお客さまのライフステージに応じた様々なサポート活動を実施しています。

2. 地方創生・地域活性化への積極的な参画

地域に根ざした産業への支援や、創業支援・事業承継支援により地域産業の活性化と雇用の創出に努めています。

3. 地域やお客さまへの積極的な情報発信

地方創生に関する課題解決に向けて、地方公共団体への情報発信による連携を強化し、お客さまとの対話による課題把握と解決に向けての有益な情報提供に努めています。

金融円滑化のための取組み

当金庫では、地域の事業者さまおよび個人のお客さまに必要な資金を安定的に供給し、地域経済の発展に寄与するため、地域金融の円滑化に積極的に取り組んでおります。

金融円滑化の基本方針

1. 地域のお客さまに必要な資金を安定的に供給することは、当金庫の最も重要な社会的役割の一つであり、お客さまからのお借入れのお申出や、お借入れの弁済負担軽減等に関わるご相談等には親身な対応を心がけ、可能な限りお客さまのご希望に沿うよう努力いたします。
2. ご融資の判断にあたっては、決算内容等の表面的な計数や特定の業種であること等、お客さまの外形的な事実だけでなく、経営実態や特性をきめ細かく検討するなど、個別企業や個人の実情に応じた的確な融資判断・検討を行います。
3. お客さまからのお申出事項に対しては、お客さま本位の姿勢で、契約内容や結論に至った理由・経緯を可能な限り丁寧に説明いたします。
4. お客さまにとって必要と判断した場合には、可能な限り経営指導・助言を行うよう努めます。
5. お客さまからのご照会・ご相談・ご要望・苦情等については、真摯な対応に努めます。
6. お客さまからのお借入れの弁済負担軽減等に関わるご相談等に際して、他の金融機関や信用保証協会等と緊密な連携を図る必要が生じたときは、守秘義務に留意しつつ、お客さまの同意を得たうえで、これらの関係機関と緊密な連携を図りながら地域金融の円滑化に努めてまいります。

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

なお、2020年度において、新規に無保証で融資をした件数は1,765件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は33.0%、保証契約を解除した件数は34件となっており、同ガイドラインに基づく保証債務整理の成立(当金庫をメイン金融機関として実施したものに限り)はございませんでした。

しんきんコラボ産学官Mie

「しんきんコラボ産学官Mie」は、平成20年7月、「産学官+金融機関」の連携組織として設立し、技術開発等経営課題を抱える会員事業者さまに対して、コラボ産学官のネットワークを活用しながら、大学等との橋渡しや資金的支援を行っております。

しんきんコラボ産学官Mieの主な取組み

- ▶ 経営者セミナーの開催 ▶ 企業訪問、工場見学の実施
- ▶ 三重大学等との共同研究(研究案件累計79件、共同研究50件)
- ▶ メールマガジンによる情報発信

「こんな技術はないだろうか」、「生産性を向上させるにはどうしたらいいだろうか」、「どうやってPRしようか」などのご要望に対する情報提供や支援を行っております。

会員資格 三重県内に勤務または居住し、あるいは事務所を有する個人または企業(団体)

年会費 5千円

三重県信用金庫事業共同化プロジェクト

県内の信用金庫で構成する三重県信用金庫協会は、業務推進、事務、監査、人事教育等の情報交換や、外部機関からの情報収集などを永年にわたって行っています。現在は、信用金庫ブランドの向上やさらなるサービス向上を目的として、事業の一部共同化も開始しております。今後も、事業共同化によるスケールメリットを活かしつつ、信用金庫のセントラルバンクである信金中央金庫との連携をさらに強化し、地元のお客さまのお役に立ちたいと考えております。



当金庫について

貸借対照表

第93期 2021年3月31日現在

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
現金	5,600	預金積金	427,392
預け金	120,015	譲渡性預金	3,000
買入金銭債権	667	借入金	28,480
有価証券	121,048	その他負債	809
貸出金	223,531	賞与引当金	152
その他資産	2,836	役員退職慰労引当金	119
有形固定資産	5,292	睡眠預金払戻損失引当金	22
建物	1,786	偶発損失引当金	13
土地	3,066	再評価に係る繰延税金負債	454
リース資産	247	債務保証	1,091
その他の有形固定資産	192	負債の部合計	461,534
無形固定資産	31	普通出資金	2,397
ソフトウェア	15	優先出資金	1,000
リース資産	5	利益準備金	2,640
その他の無形固定資産	11	その他利益剰余金	10,780
前払年金費用	236	特別積立金	9,720
繰延税金資産	1,106	当期末処分剰余金	1,060
債務保証見返	1,091	その他有価証券評価差額金	544
貸倒引当金	△ 1,358	土地再評価差額金	1,201
(うち個別貸倒引当金)	(△ 1,040)	純資産の部合計	18,565
資産の部合計	480,099	負債及び純資産の部合計	480,099

損益計算書

第93期 2020年4月1日～2021年3月31日(単位:千円)

科目	金額
経常収益	6,050,176
資金運用収益	4,949,059
貸出金利息	3,389,974
有価証券利息配当金	1,372,787
役務取引等収益	778,008
その他業務収益	143,936
その他経常収益	179,172
経常費用	4,918,704
資金調達費用	256,419
預金利息	102,260
役務取引等費用	453,713
その他業務費用	76,163
経費	3,706,330
その他経常費用	426,077
経常利益	1,131,472
特別損失	100,951
税引前当期純利益	1,030,520
法人税、住民税及び事業税	7,496
法人税等調整額	63,311
当期純利益	959,712
繰越金(当期首残高)	100,903
当期末処分剰余金	1,060,616

預金・貸出金の状況

預金積金残高は、法人預金の増加などにより、前年度末比179億円増加の4,303億円となりました。

貸出金残高は、コロナ禍での資金繰り支援を最優先に地域の皆さまの課題解決や資金需要にお応えし、前年度末比183億円増加の2,235億円となりました。

●預金積金の推移

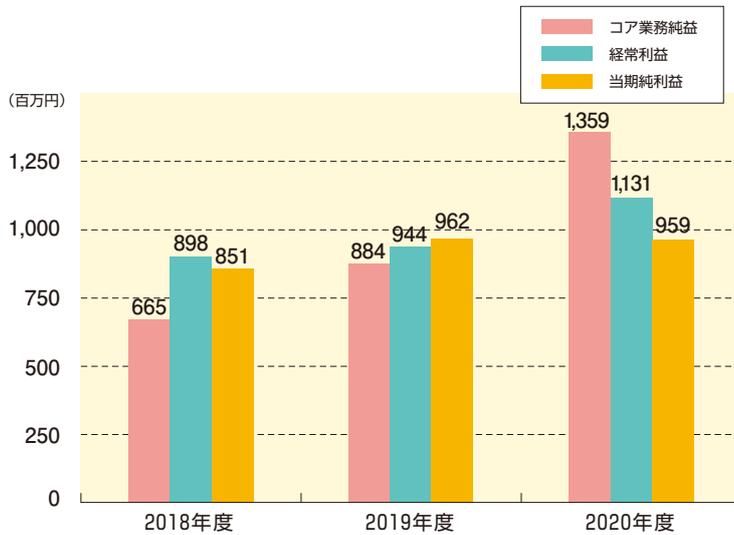


※預金積金には譲渡性預金を含みます。

●貸出金の推移



損益の状況



貸出金利息・有価証券利息配当金が増加したことや経費削減の結果、コア業務純益は前年度比475百万円増加の1,359百万円、経常利益は186百万円増加の1,131百万円、当期純利益は横這いの959百万円となりました。

コア業務純益とは

一般企業の営業利益にあたる業務純益から、国債等債券の売買損益など一時的な変動要因を除いたもので、より実質的な本業での収益力を表します。

経常利益とは

金融機関の経常的な営業活動の成果を表すもので、金融機関の営業に通常発生する収益(経常収益)から費用(経常費用)を控除したものです。

当期純利益とは

経常利益に特別損益を加減算した利益から法人税、住民税及び事業税を控除し、さらに税効果会計による法人税等調整額を加減算したものです。

自己資本比率の状況



自己資本比率は8.97%と、国内で業務を営む金融機関の基準(国内基準)の4%を十分に上回る水準を確保しております。引き続き経営の健全化・効率化を推し進め、自己資本の充実を図ってまいります。

自己資本比率とは

自己資本額をリスク・アセット(貸出金や有価証券などの資産をリスクの度合いに応じた金額に換算して積算したもの)等の額で除したもので、経営の安全性・健全性・企業体力(リスクへの耐性)等を表す代表的な指標です。

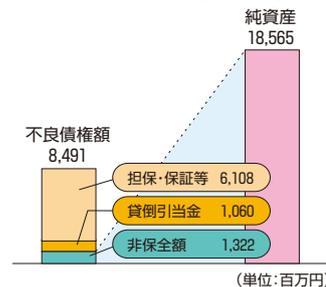
$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本額}}{\text{リスク・アセット等}} \times 100\%$$

不良債権の状況



金融再生法に基づく不良債権額は8,491百万円、不良債権比率は3.77%と低水準を保っており、さらに担保や保証等でカバーするとともに、万が一の貸倒に備えて十分な引当処理をしております。

不良債権の保全状況 (2020年度末)



不良債権はすべてが損失につながるわけではなく、担保・保証等および貸倒引当金によりカバーされています。また、非保全部分についても純資産により十分対応できる水準となっております。

店舗ネットワーク



相談業務

当金庫では、経験豊富な専門スタッフが、お客さまからのさまざまなご相談を承っています。お困りごとやお悩みなどございましたら、お気軽にご利用下さい。

相談プラザ 四日市	平日 ※土曜日・日曜日・ 祝日は休業日と なります	9:00~15:00	中小企業支援相談 TEL . 059-354-9975 相談業務 TEL . 059-354-9976
営業 推進部 (本部内)	平日 ※土曜日・日曜日・ 祝日は休業日と なります	9:00~15:00	ローン・年金相談 TEL . 059-354-9983
相談プラザ 名張 (名張支店内)	平日 および日曜日 ※土曜日・祝日・ 年末年始・GWは 休業日となります	9:00~15:00	ローン・年金相談 TEL . 0595-62-3700 相談業務 TEL . 0595-62-5600

中小企業支援相談

○創業・事業計画策定、事業承継、M&A、海外展開、
新商品・新技術開発に関するご相談

相談業務

○税務(相続・遺言・贈与)関連のご相談
○資産活用・運用に関するご相談

ローン・年金相談

○住宅ローンなど住宅に関するご相談
○各種個人ローンのご相談
○年金全般に関するご相談

※相談プラザ名張につきまして、
日曜日と祝日が重なった場合は営業いたします。
また、年末年始(12/31~1/3)・GW(5/3~5/5)は休業日と
なりますので、ご注意ください。
※一部の業務につきましては、
予約制もしくは平日のみとさせていただきます。
詳しくはホームページをご確認ください。

